

令和7年度高知県教育公務員長期研修生（研究生）の研究課題

学校経営や学習指導等の工夫改善につながる実践研究を推進するため、本県の当面する教育課題のうちから次のとおり研究課題を定める。

【高知県教育センター研究生】

1	研究課題 (募集対象)	保幼小の架け橋期における小学校教育の充実についての研究 (小学校)	募集人員
	概要説明	子供の発達や学びの連続性を確保するために幼児期の教育と児童期の教育が円滑に接続し、体系的な教育が組織的に行われることは極めて重要である。幼児期には幼児自らが遊びに向かう自発性を大切にした「環境を通して行う教育」が行われていることを踏まえ、児童が主体的に自己を発揮しながら学びに向かい、授業や学習の楽しさと充実感を感じながら基礎的な学力を身に付けていくようにすることが求められている。 そこで、教職員と保育者が「幼児期の終わりまでに育って欲しい姿」を通して幼児期の教育において育みたい資質・能力を共有し、幼児期の学びや経験を踏まえた「架け橋期のカリキュラム」等を踏まえて、児童が幼児期に身に付けた力を生かした授業づくり、園と小学校双方がねらいをもった交流学习等、小学校教育の充実を図るための研究を行う。	1
2	研究課題 (募集対象)	授業と授業外学習をシームレスにつなぐ指導方法についての研究 (高等学校)	募集人員
	概要説明	多様な背景を有する生徒が在籍する高等学校において、生徒一人一人の個性や実情に応じた対応とともに、義務教育において育成された資質・能力の更なる向上と、自立した学習者を育成し社会で生きていくうえで必要となる資質・能力を育む高等学校教育の質の確保・向上が求められている。一方では、全国的に授業以外での学習時間の減少が問題となっており、授業外学習の習慣を改善することは重要である。 そこで、生徒の主体的な学習の促進を図るために、教科の目標・評価規準、振り返り、フィードバックの仕方等において、一人一台タブレットを有効に活用し、個別最適な学びと協働的な学びによって授業と授業外学習をシームレスにつなぐ指導方法について研究する。	1